

DIニュース

保存

NO.120 発行日：2011/2/28

第二中央病院薬剤課



今月のトピック

テオフィリンの副作用に注意

テオフィリン製剤（当院採用薬：テオドール錠、ユニコン錠、ネオフィリン注）は気管支拡張作用を持ち、気管支喘息や閉塞性肺疾患に用いられ、服用患者様も多くいらっしゃいます。高齢者ではクリアランスが低下するためテオフィリンの血中濃度が上昇しやすくなります。（**テオフィリン血中濃度基準値 8~20 $\mu\text{g/ml}$** ）今回は、当院で実際に起こったテオフィリンの副作用と考えられる症例を紹介します。

<症例 1>

患者背景：80代 女性 40kg

原疾患：気管支喘息、不整脈、慢性心不全、骨粗鬆症

入院時内服薬：**ユニコン（400）** 1T キプレス（10）1T 夕食後

ツロブテロールテープ（2）1日1枚

アドエア500 ディスカス1 吸入×2回/日 メブチンエアー 発作時

アルファロール（0.25）1C ハーフジゴキシン（0.125）1T 朝食後

ディオバン（80）1T 朝食後

経過： 尿路感染、食欲低下で入院。内服、吸入薬共に家人が管理しており、コンプライアンスは良好であったが、入院時の血液データでテオフィリン血中濃度 $15.2 \mu\text{g/ml}$ 、ジゴキシン血中濃度 1.5ng/ml 。

入院3日後テオフィリン血中濃度 $22.7 \mu\text{g/ml}$ →ユニコン中止。ジゴキシン血中濃度 1.2ng/ml →ハーフジゴキシン（0.125）0.5T 朝食後に減量して症状改善される。

考察： ジゴキシンの影響もあると思われますが、経過よりテオフィリンの血中濃度が上昇したことで食思不振に陥っていた可能性が高いと考えられます。コンプライアンス良好な方でも過量となっている場合もあり、注意が必要です。

<症例 2>

患者背景：80代 女性 43kg

原疾患：COPD、うっ血性心不全、高血圧、胃潰瘍、骨粗鬆症

入院時内服薬：**テオドール（100）** 2T 酸化Mg 2g 朝夕食後

アムロジピン（2.5）1T アルダクトンA（25）1T 朝食後

ボナロン（35）1T 起床時

経過： 呼吸困難、心不全増悪で入院。HOT 導入しリハビリ中の患者様。理解力低下見られるものの退院に向けてカレンダー配薬していたが、過剰服用され悪心嘔吐訴えられる。検査値で脱水あり。テオフィリン血中濃度 $34.0 \mu\text{g/ml}$ 。内服一旦中止となり補液開始。その後、重篤な副作用は起こらず症状改善される。

考察： 過剰服用により血中濃度が急上昇しました。幸い、痙攣や不整脈などは起こりませんでしたがテオフィリン中毒の危険性を認識させられる症例です。

テオフィリンを使用される場合は血中濃度を測定し有効域に入っていることを確認して下さい。併用薬剤によっても血中濃度が変動することがあります。胃腸障害、食欲不振、嘔吐、動悸、頭痛などの症状があればテオフィリン中毒を疑い血中濃度測定をお願いします。

ひろく

当院で使用頻度の高いステロイド含有吸入薬

最近吸入ステロイド薬にも種類が増えてきました。それぞれの薬剤を比較すると以下のようになります。参考にして下さい。

吸入ステロイド薬				吸入ステロイド薬+ β 刺激薬合剤	
	フルタイドディスク	ハルミコート	オルベスコ	アドエアディスク	シムビコート
					
成分名	フルチカゾン	ブテソニド	シクレソニド	フルチカゾン+サルメテロール	ブテソニド+ホルメテロール
発売年	2002 年	2002 年	2007 年	2008 年	2010 年
性状	ドライパウダー	ドライパウダー	エアゾール	ドライパウダー	ドライパウダー
肺沈着率	15～17%	30%	52%	15～17%	40%
吸入回数	1 日 2 回	1 日 2 回	1 日 1 回(1 日 $800 \mu\text{g}$ の場合は1 日 2 回)	1 日 2 回	1 日 2 回(適宜増減)
最大用量	$800 \mu\text{g/日}$	$1600 \mu\text{g/日}$	$800 \mu\text{g/日}$	$1000 \mu\text{g/日}$	8 吸入/日
添加剤	乳糖	なし	エタノール	乳糖	乳糖
カウンター	あり	なし	なし	あり	あり
特徴	・吸入ステロイド薬の中では最も強い抗炎症作用を持つ。	・添加物が含まれておらず吸った感じがしない。	・薬剤が肺で活性化される局所活性化型のプロドラッグ。・薬剤の口腔内付着率が低いことから、嚔声や口内炎など口腔咽頭部トラブルが少ないと言われる。	・250 ディスカスは慢性閉塞性肺疾患にも適応を持つ。	・ β 刺激薬のホルメテロールは効果発現が迅速で、効果持続が長いという特性がある。